

学道一如

発行 小樽双葉高校
生徒会通信
2023年8月29日
第28号

実践的な英語をサポーター マツケンテイー先生

8月から本校のALTとして、英語の授業をサポートしてくださっているバーナード・マツケンテイー先生をご紹介します。英語で話しかけても流暢な日本語で返してくれる日本語通だ。

ご出身はアメリカのフロリダ州フォートホワード。人口618人という小さな町で、年中温暖なので泉でゴムチューブに乗ってよく遊んだという。

日本の歴史に関心

中2から高校まではホームスクールで学び、レイクシティ・コミュニティカレッジで歴史を、メリーランド大学カレッジパーク校で日本史を専攻した。その間、関西学院大学に4ヶ月



大好きなゴジラと共に

留学し、尼崎市でホームステイをした。全く英語を話さないホストファミリーだったので、必死に日本語でコミュニケーションを取ったという。関西弁は辞書にないので苦労したようだ。これを機に「話す」ことに重



大学時代に一般市民に「日本の歴史」を明治時代を中心にプレゼンした。

点を置き、専攻を歴史から外国人への英語指導(ESL)に変更してラトガーズ大学院(ニュージャージー州)で修士の学位を取得した。その後、教授の勧めもあり、日本で英語指導助手として働くことになった。札幌市教育委員会で5年間働いたが、その間、コロナで様々な制限があり、苦労もあった。

秀吉と諭吉に注目

日本の歴史上の人物で関心があるのは豊臣秀吉と福沢諭吉だ。秀吉は農家の息子が日本の頂点に立つという当時の常識を覆すような人物であるのが面白い。諭吉は江戸から明治にかけての激動の時代に蘭学を学び、ヨーロッパやアメリカに渡り、『学問のすすめ』を口語の文章で発

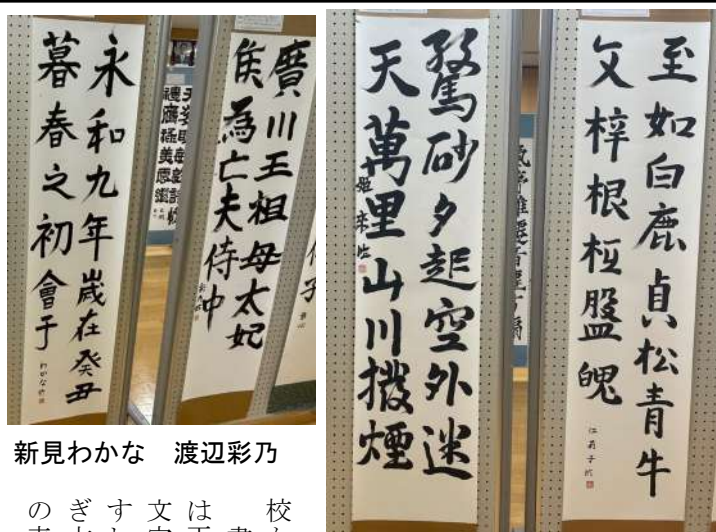
表するなど、国民に大きな影響を与えたと見ている。趣味は料理と小説を書くこと。得意料理はカレーうどんと春巻。小説はコロナの行動制限の頃から書き始め、SFやファンタジー作品だ。どんな作品か尋ねると「木星の海賊。武器は現在のものですが、戦うのは空が舞台です」。

週末は家にいるか、外出するときはレストランで食事を楽しんでいる。好物はお好み焼きなので風月が気に入る。他にインド料理

連道 高書

特選2名、優良賞2名 4名が全道大会へ

小樽桜陽高校で行われた支部の高文連書道研究大会で、212扇谷姫来さん、211岩城江莉子さんが特選に、212新見わかさん、214渡辺彩乃さんが優良賞に選ばれ、苫小牧で開催される全道大会に出場する。



岩城さんが書いた作品は古典臨書の「枯樹賦」で「できる限り作者の書き方を真似し、なおかつ自分の個性を出せるよう、はね、はらい、線のつながりに気をつけた」。高

扇谷姫来 岩城江莉子

新見わか 渡辺彩乃
校から書道始めた。書道歴9年の扇谷さんは王羲之の行書を書いた。文字の大きさ、余白、かすれやはね、文字のつながりに気をつけた。自分の表現ができる作品だ。

(カレー)、韓国料理、中華料理などを楽しんでいる。
英語は道具、実用的に
双葉の生徒は「フレンドリー」と笑顔で答えてくれた。「英語は様々な分野で実用的に使える。サイエンス、スポーツ、ビジネス

ス、音楽など多様な場面でサポートしていききたい。また、日常の実践的な使い方、たとえば、お店で違う注文が出たときの対応の仕方、約束の仕方、キャンセルの仕方など簡潔に教えたい」と意欲的だ。